

## 平成27年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成27年4月～平成28年3月

### 1. 学校概要

学校名 豊橋市立南陽中学校

種別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫教育  
 中学校  中高一貫教育  高等学校  
 教員養成  技術/職業教育  
 特別支援学校  その他 ( )

所在地 〒441-8145  
豊橋市駒形町字南欠下1番地の1

E-mail nanyou-j@toyohashi.ed.jp

Website \_\_\_\_\_

児童生徒数 男子 278 名 女子 288 名 合計 566 名  
児童・生徒の年齢 12 歳～15 歳

### 2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ( )

### 3. 活動内容

本校は、海拔0メートル地帯に立地しており、生徒はもちろん、保護者や地域の方々も海に隣接した学校の状況に対して、大きな危機感を抱いている。また、東日本大震災以来、「津波避難ビル」にも指定されている。そのため、子どもたちの命を守るために、南海トラフ巨大地震を想定したさまざまな方策を行っている。

また、道徳や生徒の活動を中心に、「自分の命・他者の命」について考える活動にも取り組んでいる。

#### (1) 安全・安心な町づくりや学校づくりを目指した防災学習

避難訓練の2回目(9/1)は、大地震が起き、大津波が押し寄せてくることを想定して、校舎の3階と4階へ全員が避難する訓練を行った。3回目(10/5)は、津波が到達するまでに時間がある想定で、地域の保育園、小学校と連携し、合同で高台にある地域の保健施設「ほいっぷ」へ速やかに避難し、安全な行動がとれる訓練とした。4回目(11/5)は生徒に日時を知らせず、普段の生活の中で突然起こる災害として、シェイクアウト訓練を行った。



防災に関する学級活動として、3年生では「避難所運営ゲームHUG」を使い、災害が起きた場所で様々な状況の人たちが避難をしてくる中、自分たちが避難所をどう運営していくかを考える、意識を高める取り組みを行った。

#### (2) 「いのちの月間」を中心とした命の学習（人権学習）



6月を「いのちの月間」として、朝の会や学活、道徳などのさまざまな場面で「命」をテーマとした学習の場を設定している。全校集会「いのちの日の集会」(6/18)では、町別生徒会（通学団）ごとに自分たちの通る場所へ出かけ、危険な場所を全体に紹介した。これによって、被災時だけではなく、日常の生活から安全に暮らす意識を高めることができている。

また、「大切ないのち 私もあなたもみんな大切」を合言葉に、6月に10日間ほど、短い詩から新聞の投稿まで、さまざまな分野から見つけた、いのちに関する読み物を生徒に紹介した。教室に掲示し、朝の会や帰りの会、学活や道徳の時間など、紹介する時間は担任に任せ、生徒がいのちについて考える時間を確保した。

生まれたのもすこい  
みんなと出会ったのもすこい  
普通だけど、すこい  
引用元：『いのちの月間』(大切ないのち)  
著者：藤野 十八郎

#### (3) 「愛・知・みらいフォーラム」(27年度 出前授業 6/19)

講師の先生に来ていただき、地球温暖化防止の観点から、「地球環境問題の今を問う」と題して講演をいただいた。副題は、「待ったなし！地球温暖化対策 みんなで考えよう何が必要か -21世紀は地球環境をよくするために人間社会が大転換する時代-」として70分間余にわたり、「持続可能な社会」に向けての思いを、熱く生徒に語っていただいた。



(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）